



SAZANAMI LABEL loves '60s sound ELEKI, GS, SURF, GARAGE, R&R, MODS, HOT ROD, SHOWA POP SONG...

(有)オール・クリエイティブ・エンタテインメント 〒166-0002 東京都杉並区高円寺 2-8-12 ミクラビル 302
2-8-12-302, KOENJI-KITA, SUGINAMI-KU, TOKYO, 166-0002 Japan <http://www.sazanamilabel.com>

The Monsters(スイス) [Hide and Seek]

2005.4.25 発売

SZNM-1010 全 22 曲入CD
¥2200(税抜) / ¥2310(税込)
流通:ダイキサウンド(株)
CR JAPAN 他

トラッシュ! ガレージ! パンク! メンバー自らセレクトした
日本特別編集盤! しかも**未発表ライブ・テイク**、
そして**ライブ映像とコメント**(日本語訳付)まで収録。
初心者からかなりのマニアまでに対応!



鬼オライトニンビートマン率いるヨーロッパ NO.1 トラッシュ・ガレージ・バンドの待望の日本デビュー作。キラールーベール Voodoo Rhythm のベスト作品に 2004 年のライブ等未発表 3 曲も加えた 22 曲を収録。他の追従を許さない阿鼻叫喚のデンジラス・サウンドで疾走するロックンロールが思う存分堪能出来る会心作です。(西新宿 Barnhomes 代表 吉原)

VOODOO RHYTHM、BEAT-MAN、MONSTERS、、、ピンとくる奴が何人いるかは疑問だが、反応を示す少数派の人達はトラッシュ・ロックンなライブ・スタイルを持つ素敵な MEN&WOMEN であることは間違いないだろう。VOODOO RHYTHM(以降 VR)とは、スイスという乳製品がデリシャスな国から世界中にロックン・ウィルス巻き散らかしている今最もホットでクレイジーなレーベルのこと。西新宿や渋谷の一部のレコード店では入荷するもすぐに完売という現象を起こし、マニアを狂喜させている。BEAT-MAN とは、その VR を主催するクレヴァーな怪人だ。要するにレーベルの社長ってわけ。氏はソロ作品、別プロジェクト等、自らリリースしているが、どれも HELL な傑作。そして、その BEAT-MAN がワイルド&トラッシュなギャング達を率いて 86 年から活動するバンドが、今回の主役 THE MONSTERS。活動歴も長く、1st「MASK」以降コンスタントにリリースもある為、他のプロジェクトより知名度もあるようだ。特にヨーロッパではフェスのトリをつとめるといった人気ぶり。一昨年に NEW YORK のローアー・イーストサイドで偶々、彼等のライブを見ることができた。クローン・ドラム(ひとつのドラム・キットをセパレートにふたりがプレイする為、ツイン・ドラムとは呼ばないらしい)とベースが衝突して巻き起こるロックン・グルーヴの上を気持ち良さそうに暴れる BEAT-MAN。破壊の紳士は、オーディエンスをあざ笑う。圧倒的な存在感は他の出演バンドとの格の違いを見せつけていた。ステージをのたうちまわる社長。機材に突っ込む社長。ギターをチェーンソーのように扱う社長。社長! 社長! ビートマン! LASTHURRAH 誌のインタビューという伏線もあった為、その時親交を深めることもできた(かな?)。昨年夏にはゴッグルエースのヨーロッパ・ツアーのサポート・ベーシストとしてスイスに乗り込んだが、自身のソロライブで都合のつかない BEAT-MAN はモンスターな使者を俺達のところへよこした。グレート・マン! イエイ! そのときの縁がきっかけになりブラザーになった? ゴッグルエースのサポートで日本ツアーという快挙までが実現することになった。ロックンロールに乾杯! この文を読んでいる人は、すでにアルバムをゲット済みの怪物くん達だと思うので君たちにも乾杯だぜ! ヘル・ペイビー! 本作は VR からリリースされている "birds eat martians""I see dead people""youth against nature" といった 3 枚のアルバムからメンバー自ら、セレクトした日本特別編集盤。ベスト盤的な内容だが、1 枚のアルバムとしての統一感があるため入門編としても最適だ。嬉しいことに未発表ライブ・テイクまで収録されているので、マニアにもたまらないブツに仕上がっている。VR 作品すべてに言えることだが、アートワークがまた素晴らしい。グラフィック・アーティストでもある BEAT-MAN の非凡なセンスを感じるぜ。SAZANAMI レーベルの功績によりすべてのミラクルが揃った、このアルバムを来日記念盤として日本の宝にしようじゃないか。



本作に魅了されたワイルド・トラッシュ・ロックンな族が続出! なんてことになったら、最高なんだけどな。

2005. 2. 13 ROCKIN' TETSUYA H. (DAS BOOT/LAST HURRAH)

<http://www.voodooorhythm.com>

最新情報: DOLL、CROSSBEAT など、続々インタビュー掲載決定中!

次の方々からコメントをいただいています。

刺激的なサウンドで、いつもいつも押しまくるライトニングビートマンの登場だ。奴がスイスで率いているこのモンスターズは、さらに刺激的。こんなバンドに会えてよかった。アルゼンチンでは、こいつらと朝から晩まで肉ばっかり食ってたよ。
(ギターウルフ セイジ)

CRAMPS に Mummies そして DEMENTED A GO をも足した様な正に理想的な TRASH.PSYCHO.GARAGE PUNK、Beat-Man のデビルヴォイスに怒ファズギター 86 年からやってる筋金入りのいかれっぷりに頭がさがるぜ!

DADDY-O-NOV (RADIO UNDERGROUND)

脳天に突き刺さる猛烈に野蛮な FUZZ GUITAR! ライトニンビートマンの 極悪な DEVIL SCREAM!! ラフでワイルド! ハードコアな疾走感にのせて JUNGLE NOISE をまき散らすスイスの怪物達!! これこそ TRASH GARAGE PUNK の神髄!!」

HOWLING GUITAR/HIDEKI

収録曲

- 1.intro
 - 2.the love I had
 - 3.I'm always wrong
 - 4.get on the right track baby
 - 5.acid dreams
 - 6.black
 - 7.hold me hug me (live)
 - 8.voodoo love
 - 9.digging my grave
 - 10.dead end street
 - 11.down the road
 - 12.go away fuck your self
 - 13.hi heels an mini skirt
 - 14.I'm going away girl
 - 15.I've got the brain up my ass
 - 16.pony tail and a black Cadillac
 - 17.gozilla
 - 18.speed racer
 - 19.the other man
 - 20.take a trip to my grave
 - 21.seaching (live Zurich 2004)
 - 22.It's not my way (live Bern 1995)
- +Special Movie!

The Monsters Japan Tour 2005

- 5/26 千葉 LOOK
- 5/27 静岡・清水 JAMJAMJAM
- 5/28 東高円寺 UFO CLUB
- 5/29 岐阜・各務原 BRAVO
- 5/30 京都 MUSE HALL
- 5/31 山口・宇部 DUO
- 6/1 福岡キースフラック
- 6/3 大阪ロックライダー
- 6/4 神戸 BACKBEAT
- 6/5 名古屋 OYS
- 6/6 八王子 RIPS
- 6/7 仙台 enn
- Japan tour Final
- 6/8 下北沢 SHELTER